

八児地区 社協だより

令和3年2月15日号

発行者
八児地区
社会福祉協議会
発行責任者
西興一
事務局
八児市民センター
TEL・FAX
093-613-2555

福祉活動の推進をめざして

八児社協 会長 西興一



令和元年四月から八児地区社会福祉協議会の会長を拝命いたしました西と申します。

今回ゼロからのスタートを実現するにあたり、規約、組織改正に伴い規約改正委員会を立ち上げ、のべ数十時間の協議の結果、規約、組織ができ、令和二年度のまちづくり協議会、社会福祉協議会の総会資料として提出することが出来ました。これもひとえに、規約改正委員会の皆様方の支援と協力の賜物と感謝しているところでございます。今後、「まち協」「社協」が両輪となって、安心と安全な活動が出来ることを願っております。

さて、八児社協の大きな事業として「一人暮らし年長者の集い」を計画していましたが、「コロナ禍のため、中止を余儀なくされました。これに伴い、元気で希望を持って暮らしていただきたいという願いを込めて各地区記念品をお贈りすることにしました。記念品配布後、一人暮らしの年長者の方々から、喜びの声が多数寄せられ、社協としても安堵しているところです。

「コロナ禍の終息が未だ、見えない状況ですが、感染対策を徹底しながら、今後の社協の活動を進めていきたいと考えております。

最後に民生委員、福祉協力員の皆様の日常の活動に感謝するとともに、行政、まち協、関係団体、住民の皆様と連携を図りながら、八児地区の福祉の向上を目指した取組を進めてまいりたいと思っております。令和三年度も皆様の御支援ご協力を宜しくお願い致します。

本年度の八児社協の取組を振り返って 八児社協 総務企画 田中 富士登



「コロナ禍の為、会議・イベントが殆ど実施出来なくなり残念な一年となりました。

本年度から「八児社協」は、「八児まちづくり協議会」から分離し、「八児社協」独自の活動を行っております。

八児地区の高齢化・少子化が進む中で、社協の取り組みが「今よりもっとフィットワークの軽い活動ができるように」、又、活発に行動が出来るように」との思いで分離を行いました。

八児社協は「原点回帰」をスローガンに掲げ、全ての活動は「ゼロからのスタート」を基本に、地域の福祉活動を実施中です。

八児社協の「組織改革・規約改正・会議内容の充実」を今までと違った視点で見つめ直しを行っております。今年度は、運営・組織基盤の強化・福祉サービスの強化を重点に行っているところです。すべには、大きな成果は出るものではありませんが、「福祉のメンバー・関係機関」からは、以前より「良い方に変化しつつある」との声を頂き有難く思っています。今後も皆様の意見に耳を傾け、又、関係機関との連携を図りながら、地域の福祉活動を進めていきます。皆様のご協力・ご支援を宜しく願います。



町上津役の福祉活動の取組

町上津役地区 福祉代表 栗山 正博



本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、日頃の「見守り・訪問活動」をする際の対応方法の変更、各種行事の中止や内容の変更等を強いられた年となりました。

「見守り訪問活動」を行う際に有効な、広報紙「おげんきですか?」の配布方法について、8月までは対面での手渡しは出来ないませんでした。9月からは手渡ししてもよいことになりましたが、「手渡しの際の注意事項」が市より示されました。

- ①マスクの着用。 ②距離を確保して話す。
- ③長話はしない。 ④こまめな手指の消毒。
- ⑤自分の行動を記録しておく。 31名の福祉協力員さんは注意事項に留意しつつ、心のこもった継続的な見守りを、6名の民生児童委員と共に汗ながら行っていました。

10月の「敬老会」は中止となり、70人を超える75歳以上の方に、長寿をお祝いして記念品に手紙を添えてお贈りしました。

11月の「一人暮らしお楽しみ会」も中止となり、150人を超える75歳以上の一人暮らしの方に、除菌用品とお菓子をセットした「お楽しみ袋」と「思わず歌ってみたくなる懐かしの歌本」を添えてお届けしました。

「認知症徘徊高齢者模倣捜索訓練」や「サロン活動」を残していますが、「コロナ感染状況等を見極めての実施判断となります。

「コロナ禍、見守り訪問活動や行事実施に制約を受けつつも、これからも皆様の心をほっこりさせることができるよう、知恵をしばり力を結集して取り組んでいく所存です。



笑顔をいただき、笑顔を返す

大平地区 福祉代表 竜田 敬子

本年度は、新型コロナウイルス感染症の為、十分な活動ができませんでしたが、

しかし、「一人暮らしの見守り」だけは、なんとか続けなければと思い、協力員さん達にお願いして『お元気ですか』のポスティング、声かけをしていただけることで続けることが出来ました。

敬老会は、「記念品」を「年末一人暮らしお楽しみ会」は、お弁当を届けることで皆さんから笑顔を頂くことが出来ました。

毎月第3水曜日開催の「ふれあいサロン」を十二月十六日に、十ヶ月ぶりに開くことができました。お茶を頂きながら、CD「日本の名作」を23名で鑑賞しました。

新年も開催予定ですが、感染症の状況を判断しながら、進めていきたいと思っております。



大平ふれあいサロンの活動風景

マスク着用
無しの素顔
の笑顔が早く
見られること
を願う福祉活
動に取り組み
てまいります。

